

子ども・子育て支援事業計画の
確保策について
(地域子ども・子育て支援事業)

平成26年10月9日
松戸市子ども部
子育て支援課・幼児保育課

(1) 時間外保育事業 ※実利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- ・18時以降の保育事業の利用希望により算出する。
- ・アンケート調査の利用意向率を基に推計される2号・3号児童数から算出する。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	744	769	795	825	849
確保の内容(人)	2,733	3,074	3,221	3,434	3,569
施設数(か所数)	31	37	41	46	50
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・小金

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	818	863	909	961	1,004
確保の内容(人)	1,796	2,116	2,418	2,719	2,877
施設数(か所数)	22	27	33	40	45
需給状況	0	0	0	0	0

・常盤平

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	529	533	539	547	552
確保の内容(人)	1,441	1,606	1,771	1,861	1,925
施設数(か所数)	15	17	20	22	23
需給状況	0	0	0	0	0

・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	2,091	2,165	2,243	2,333	2,405
確保の内容(人)	6,015	6,834	7,448	8,052	8,409
施設数(か所数)	68	81	94	108	118
需給状況	0	0	0	0	0

3. 確保の方針

量は足りている。

(2) 放課後児童健全育成事業

※年間利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- ・低学年の利用意向率は、アンケート調査を基にしたところ14.8%であったが、実績値との乖離があったため、H26実績値より20.4%とする。
- ・高学年の利用意向率は、アンケート調査を基に推計児童数から算出し、6.1%とする。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

- ・市全体

		27年度			28年度			29年度		
		低学年	高学年	計	低学年	高学年	計	低学年	高学年	計
量の見込み(人)		2,401	718	3,119	2,396	702	3,098	2,365	707	3,072
確保の内容(人)	放課後児童クラブ	2,401	366	3,119	2,396	368	3,098	2,365	387	3,072
	放課後KIDSルーム		352			334			320	
放課後児童クラブ(か所数)		44			45			45		
(うち施設拡大するか所数)		(4)			(8)			(12)		
放課後KIDSルーム(か所数)		10			14			18		
需給状況(人)		0	0	0	0	0	0	0	0	0
		30年度			31年度					
		低学年	高学年	計	低学年	高学年	計			
		2,324	695	3,019	2,291	685	2,976			
		2,324	367	3,019	2,291	385	2,976			
			328			300				
		45			45					
		(16)			(17)					
		22			26					
需給状況(人)		0	0	0	0	0	0			

3. 確保の方針

- ・低学年については、見込み量全量を放課後児童クラブで提供できるようにする
- ・高学年については、放課後児童クラブで対応するとともに放課後KIDSルームを拡充する
- ・放課後子ども総合プランに基づき、KIDSルーム実施校の中から、放課後児童クラブとの一体的運営を段階的に開始する

(3) 子育て短期支援事業 ※延利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- ・3カ年の利用実績の平均利用率の増加率を加算し、算出する。
- ・アンケート調査において「ショートステイの利用希望日数」が未記入であり推計困難。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	739	729	721	716	707
確保の内容(人日)	365	730	730	730	730
需給状況(人日)	-374	0	0	0	0

3. 確保の方針

28年度に1日の定員を2人とする。

(4) 乳児家庭全戸訪問事業 ※実利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- アンケート調査の対象項目にないため、利用実績の数値をもとに算出する。
- 事業の目的が、乳児家庭に対し全数訪問をめざすものであり、出生数が必要量となる。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	1,721	1,700	1,678	1,656	1,630
確保の内容(人)	1,721	1,700	1,678	1,656	1,630
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・小金	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	1,251	1,236	1,220	1,204	1,185
確保の内容(人)	1,251	1,236	1,220	1,204	1,185
需給状況(人)	0	0	0	0	0

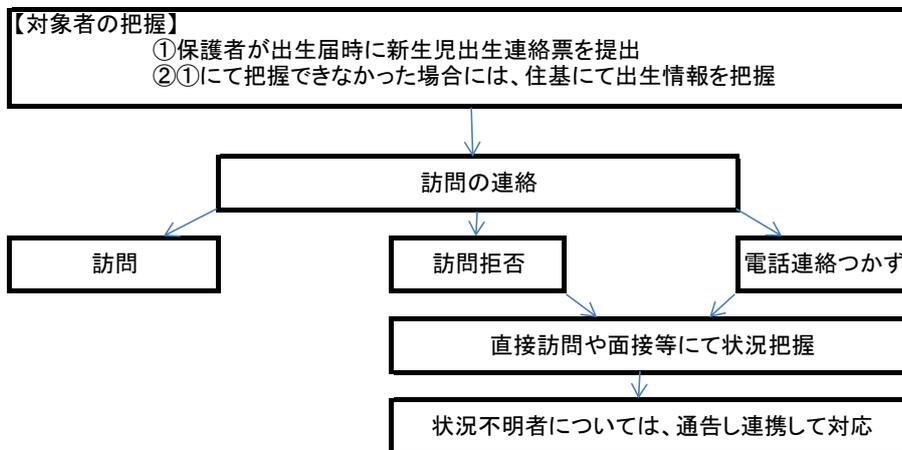
・常盤平	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	887	876	865	854	841
確保の内容(人)	887	876	865	854	841
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・市全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	3,859	3,812	3,763	3,714	3,656
確保の内容(人)	3,859	3,812	3,763	3,714	3,656
需給状況(人)	0	0	0	0	0

3. 確保の方針

生後4か月までの乳児のいるすべての家庭へ、訪問率100%をめざす。

【訪問フロー図】



(5) 養育支援訪問事業 ※実利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- アンケート調査の対象項目にないため、母子保健事業の実績報告(県提出)「こども虐待(疑いを含む)に関する支援の実施状況」の数値をもとに算出する。
- 29年に目標値を定め、段階的に伸ばし、その後横ばいとする。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	13	18	25	25	25
確保の内容(人)	13	18	25	25	25
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・小金	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	10	13	17	17	17
確保の内容(人)	10	13	17	17	17
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・常盤平	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	7	9	13	13	13
確保の内容(人)	7	9	13	13	13
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・市全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	30	40	55	55	55
確保の内容(人)	30	40	55	55	55
需給状況(人)	0	0	0	0	0

3. 確保の方針

スタッフ養成講座の拡充にて、支援員の確保などを検討していく。

【対象者の把握】

妊娠届・乳児家庭全戸訪問・乳幼児健診や医療機関等からの連絡等により地区担当保健師が訪問



【支援の決定】

センター長・地区担当保健師・(必要に応じて虐待部署の相談員)にて支援の決定



【支援方針の決定】

支援計画・期間の作成・決定



【支援の継続・終了について決定】

保健師が訪問し状況確認後、支援の評価を行い、今後の支援策を決定

(6) 地域子育て支援拠点事業

※年間延利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- ・計画最終年度31年度に向けて、潜在的な需要が徐々に顕在化するものと仮定し、平均的に増加させていく。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	63,520	71,414	79,032	86,420	93,496
確保の内容(人日)	82,640	88,730	94,820	94,820	94,820
地域子育て支援拠点(か所数)	9	10	10	11	11
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

・小金

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	38,639	45,914	52,931	59,767	66,336
確保の内容(人日)	52,980	68,330	68,330	68,330	68,330
地域子育て支援拠点(か所数)	6	7	7	7	7
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

・常盤平

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	28,449	32,135	35,689	39,129	42,450
確保の内容(人日)	34,140	34,140	43,350	43,350	43,350
地域子育て支援拠点(か所数)	4	4	5	5	5
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	130,608	149,463	167,652	185,316	202,282
確保の内容(人日)	169,760	191,200	206,500	206,500	206,500
地域子育て支援拠点(か所数)	19	21	22	23	23
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

3. 確保の方針

既存施設の開設日の拡大と新規施設の開設

(7) 一時預かり

※年間延利用者数

1号認定(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育))

1. 量の見込みの算出方法の概要

- ・幼稚園の預かり保育利用希望率より算出する。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	34,401	33,800	33,408	33,469	33,098
確保の内容(人日)	11,700	30,000	34,800	48,300	53,100
施設数(か所数)	14	16	16	16	16
需給状況(人日)	-22,701	-3,800	0	0	0

・小金	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	20,979	20,611	20,373	20,413	20,186
確保の内容(人日)	11,700	16,500	30,900	45,300	54,900
施設数(か所数)	8	12	12	12	12
需給状況(人日)	-9,279	-4,111	0	0	0

・常盤平	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	13,674	13,429	13,278	13,299	13,148
確保の内容(人日)	10,200	22,200	31,800	36,600	41,400
施設数(か所数)	11	12	12	12	12
需給状況(人日)	-3,474	0	0	0	0

・市全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	69,054	67,840	67,059	67,181	66,432
確保の内容(人日)	33,600	68,700	97,500	130,200	149,400
施設数(か所数)	33	40	40	40	40
需給状況(人日)	-35,454	0	0	0	0

3. 確保の方針

幼稚園全園での実施を目指す。

(7) 一時預かり

※年間延利用者数

2号認定(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育))

1. 量の見込みの算出方法の概要

- ・アンケート調査を基にした2号認定の確保策より、幼稚園の預かり保育の見込みを量とした。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	18,000	24,000	24,000	30,000	30,000
確保の内容(人日)	18,000	24,000	24,000	30,000	30,000
施設数(か所数)	3	4	4	5	5
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

・小金

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
確保の内容(人日)	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
施設数(か所数)	3	3	3	3	3
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

・常盤平

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
確保の内容(人日)	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
施設数(か所数)	2	2	2	2	2
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	48,000	54,000	54,000	60,000	60,000
確保の内容(人日)	48,000	54,000	54,000	60,000	60,000
施設数(か所数)	8	9	9	10	10
需給状況(人日)	0	0	0	0	0

3. 確保の方針

認定こども園等の拡大と連携した確保を行う。

(7) 一時預かり他

※年間延利用者数

(幼稚園における在園児を対象とした一時預かり(預かり保育)以外)

対象となる業務：乳幼児一時預かり(ほっとるーむ・保育所)、ファミリーサポートセンター、児童短期入所(晴香園)

1. 量の見込みの算出方法の概要

- 全未就学児童のうち、幼稚園の預かり保育利用希望を除いた不定期の預かり事業の利用希望を算出する。
- 必要性の弱い利用希望は除外する。
(利用希望はあるが、現在利用しておらず、その理由として「特に利用する必要がない」と回答)

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	32,134	31,773	31,373	30,948	30,508
確保の内容(人日)	13,482	13,482	15,512	31,844	31,844
預かりを行う地域子育て支援拠点(か所数)	1	1	2	2	2
預かりを行う保育所(か所数)	6	6	6	10	12
需給状況(人日)	-18,652	-18,291	-15,861	0	0

・小金

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	27,895	27,559	27,205	26,903	26,531
確保の内容(人日)	11,805	13,835	13,835	23,536	26,606
預かりを行う地域子育て支援拠点(か所数)	2	3	3	3	3
預かりを行う保育所(か所数)	3	3	3	4	6
需給状況(人日)	-16,090	-13,724	-13,370	-3,367	0

・常盤平

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	21,058	20,793	20,534	20,315	20,043
確保の内容(人日)	5,686	8,236	8,236	17,078	20,148
預かりを行う地域子育て支援拠点(か所数)	1	2	2	2	2
預かりを行う保育所(か所数)	4	4	4	5	5
需給状況(人日)	-15,372	-12,557	-12,298	-3,237	0

・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	81,087	80,125	79,112	78,166	77,082
確保の内容(人日)	30,973	35,553	37,583	72,458	78,598
預かりを行う地域子育て支援拠点(か所数)	4	6	7	7	7
預かりを行う保育所(か所数)	13	13	13	19	23
需給状況(人日)	-50,114	-44,572	-41,529	-5,708	0

3. 確保の方針

預かり保育を行う施設の拡大

(8) 病児・病後児保育事業 ※年間延利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- ・病児保育の利用意向のうち、日常的若しくは緊急時に祖父母等の親族に持ってもらえる方を除き、算出する。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み（人日）	2,251	2,218	2,191	2,179	2,152
確保の内容（人日）	1,758	1,758	2,344	2,344	2,344
病児(か所数)	0	0	1	1	1
病後児(か所数)	1	1	1	1	1
需給状況（人日）	-493	-460	0	0	0

・小金

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み（人日）	1,636	1,612	1,593	1,584	1,564
確保の内容（人日）	1,172	1,172	1,172	1,172	1,758
病児(か所数)	0	1	1	1	1
病後児(か所数)	1	0	0	0	1
需給状況（人日）	-464	-440	-421	0	0

・常盤平

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み（人日）	1,161	1,144	1,130	1,124	1,109
確保の内容（人日）	1,172	1,172	1,172	1,758	1,758
病児(か所数)	1	1	1	1	1
病後児(か所数)	0	0	0	1	1
需給状況（人日）	0	0	0	0	0

・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み（人日）	5,048	4,974	4,914	4,887	4,825
確保の内容（人日）	4,102	4,102	4,688	5,274	5,860
病児(か所数)	1	2	3	3	3
病後児(か所数)	2	1	1	2	3
需給状況（人日）	-946	-872	-226	0	0

3. 確保の方針

病院、診療所、保育施設等にて病児・病後児保育事業を拡大する。

(9) 子育て援助活動支援事業 ※年間延利用者数
 (ファミリー・サポート・センター) (就学児)

1. 量の見込みの算出方法の概要
 ・アンケートの見込み数をもとに、平成25年の実績値を勘案して算出した。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策
 ・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人日)	4,200	3,850	3,500	3,150	2,800
確保の内容(人日)	1,600	1,900	2,200	2,500	2,800
需給状況(人日)	-2,600	-1,950	-1,300	-650	0

3. 確保の方針

子育て支援スタッフ養成講座の継続開催により、提供会員の増加を目指す。

(10) 妊婦健康診査事業

※実利用者数

1. 量の見込みの算出方法の概要

- アンケート調査の対象項目にないため、24年度の母子健康手帳交付数(妊娠届出数)に、0歳人口の伸び率により算出する。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	1,888	1,865	1,841	1,816	1,788
確保の内容(人)	1,888	1,865	1,841	1,816	1,788
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・小金

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	1,373	1,356	1,338	1,321	1,300
確保の内容(人)	1,373	1,356	1,338	1,321	1,300
需給状況(人)	0	0	0	0	0

・常盤平

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	973	961	949	937	923
確保の内容(人)	973	961	949	937	923
需給状況(人)	0	0	0	0	0

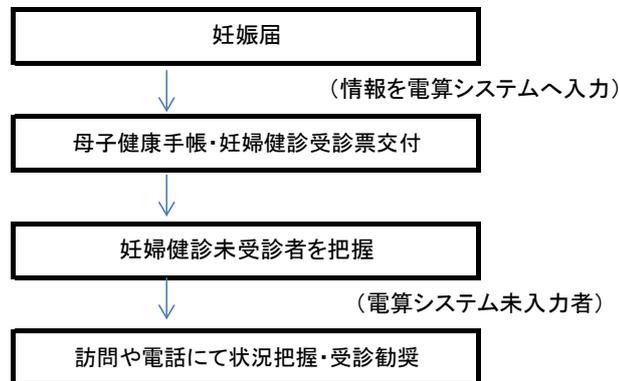
・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(人)	4,234	4,182	4,128	4,074	4,011
確保の内容(人)	4,234	4,182	4,128	4,074	4,011
需給状況(人)	0	0	0	0	0

3. 確保の方針

妊娠届をした方は、妊婦健診受診の有無の把握が可能のため、未受診の状態であれば、地区担当保健師より受診勧奨をし、受診率100%をめざす。

【未受診者フロー】



(11) 利用者支援事業 ※か所数

対象：子育てコーディネーター業務、(仮称)保育コンシェルジュ業務

1. 量の見込みの算出方法の概要

・アンケート調査の対象項目にないため、子育てコーディネーターは身近な場所で日常的に利用できる地域子育て支援拠点(おやこDE広場・子育て支援センター)のか所数、(仮称)保育コンシェルジュは各地域1か所とする。

2. 区域ごとの量の見込みと確保策

・松戸

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(か所数)	10	11	11	12	12
確保の内容(か所数)	10	11	11	12	12
(うち子育てコーディネーター)	(9)	(10)	(10)	(11)	(11)
(うち保育コンシェルジュ)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
需給状況(か所数)	0	0	0	0	0

・小金

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(か所数)	6	7	7	8	8
確保の内容(か所数)	6	7	7	8	8
(うち子育てコーディネーター)	(6)	(7)	(7)	(7)	(7)
(うち保育コンシェルジュ)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)
需給状況(か所数)	0	0	0	0	0

・常盤平

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(か所数)	4	4	5	6	6
確保の内容(か所数)	4	4	5	6	6
(うち子育てコーディネーター)	(4)	(4)	(5)	(5)	(5)
(うち保育コンシェルジュ)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)
需給状況(か所数)	0	0	0	0	0

・市全体

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(か所数)	20	22	23	26	26
確保の内容(か所数)	20	22	23	26	26
(うち子育てコーディネーター)	(19)	(21)	(22)	(23)	(23)
(うち保育コンシェルジュ)	(1)	(1)	(1)	(3)	(3)
需給状況(か所数)	0	0	0	0	0

3. 確保の方針

子育てコーディネーターは、地域子育て支援拠点の整備に伴い配置し確保する。
(仮称)保育コンシェルジュは、各区域に1か所ずつ専門の保育コンシェルジュを配置する。